

# 京都大学経済学研究科・ 経済学部を取組

京都大学経済学研究科長・経済学部長

依田 高典

私は2021年度から2022年度まで経済学研究科長・経済学部長を拝命し、2023年度は1年間の再任をされています。この間の経済学研究科・経済学部の取組を入学試験・カリキュラム改革・産学連携・国際研究力強化の4点から説明します。

第一に、入学試験の取組です。現在、経済学部では、一般文系(180名)・一般理系(25名)・特色文系(15名)・特色理系(10名)・外国学校出身(10名)という多様性のある選抜を実施しています。入学試験の難易度は、東大文・文二・京大法と並んで、最難関を維持しています。今後の課題としては、現在は35名に留まる理系人材と2割程度に留まる女子学生の増大が挙げられます。

第二に、カリキュラム改革の取組です。現在、経済学研究科・経済学部では、経済学を主専攻、データ科学を副専攻として、文理融合教育に努めています。現在は、2回生時に第二外国語の代わりにデータ科学科目を選択できるデータ科学選択制度を導入していますが、2025年度からは第二外国語の代わりにデータ科学科目を必修化します。他方で、外国学校出身者ほか向けに、語学力を重視したグローバル人材育成プログラムを設置します。また、3回生前期時点で、上位2割を在学時成績優秀者として認定し、希望者には大学院生科目の履修を認め、5年間一貫で学士・修士を併修できるプログラムを設置し、毎年10名程度の学生が挑戦しています。

第三に、産学連携の取組です。現在、経済学部では、5つのスポンサー企業から寄附講義を設置して頂き、就職活動の始まる2回生から、実務的な

知識に触れる機会を提供し、同窓会特別学生会員向けのセミナーにもご協力を頂いています。

第四に、国際研究力強化の取組です。京都大学は、国際卓越研究大学プログラムに申請をしていますが、TOP10%の高被引用論文が重視されるので、全教員・全論文の出版数・被引用数を見える化し互いに切磋琢磨してまいります。最も優れた研究力のある教員には、特別研究教員の称号を付与し、研究専念の待遇を与えています。大学院生に対しては、民間寄付金を用いて、全ての博士後期大学院生が何らかの生活支援を受けられる制度を始めました。最後に、高田保馬記念講演を設置し、国際的に優れた研究者を招聘し、研究報告を頂く機会を増やしていきます。

以上が、私が部局長として取組んで

## 京都大学経済学研究科・経済学部の取組について

2023.4.24 京都大学経済学研究科長・経済学部長 依田高典

### 入学試験の取組

- ・一般文系180名・一般理系25名・特色25名(文系15・理系10名)・外国学校10名。
- ・入試偏差値は文系最難関を維持(東大文1・文2・京大法・経、河合塾偏差値67.5)。
- ・今後の課題として、一般理系を増やすこと、女子学生を増やすこと。

### カリキュラム改革の取組

- ・データサイエンス教育の徹底強化。2025年度から必修化。専門課程で副専攻化。
- ・第二外国語必修を廃止。卓越した語学力を重視したグローバル人材プログラムの設置。
- ・成績上位20%を在学時に表彰。学部・大学院5年一貫短修制度の拡充。
- ・情報学研究科と協力して、大学院博士課程向け共同指導体制の設置。

### 産学連携の取組

- ・寄附講義を5スポンサー設置。2回生から受講可能。セミナー・インターンと密に連動。
- ・同窓会学生特別会員向けセミナーの開始(3回生向けセミナー、1/2回生向けセミナー)。
- ・今年度秋に同窓会主催で就活情報提供共同セミナー実施予定。

### 国際研究力強化の取組

- ・国際卓越研究大学へ申請。高被引用Top10%論文を重視。全教員全論文の見える化。
- ・研究専念可能な特別研究教員制度の設置。第一号は中林純教授。
- ・大学院博士院生の有資格者の授業料免除・生活支援。
- ・高田保馬記念講演の設置。世界の優れた学者との交流促進の機会設置。

た主な事項です。しかしながら、海外のトップ校の背中には依然として遠く、我々の努力は未だに及びません。今後とも来し方百年の良き伝統は守りつつも、行く先百年では改革を怖れずに進んでいきます。どうか同窓会の皆さまにおかれましては、私たちの取組を温かくお見守り下さい。